

1年 さんすう学習の進め方

☆12, 13ページの学習は、5の構成を理解するのが目標です。

12ページ <5はいくつといくつ>

- ① 青いおはじきと赤いおはじきの数を数えて、教科書に書き込みます。
「あおいおはじきと あかいおはじきの かずをかぞえて しかくのなかに かきましょう。」

13ページ

- ① 5はいくつといくつか〇のかずをかぞえて □にかずをかきましょう。
- ② わかっているほうのかずだけ〇にいろをぬって、もうひとつのかずを□にかきましょう。

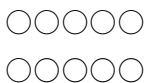
☆14, 15ページは、数量をあらわす「ろく」「しち」「はち」「きゅう」「じゅう」の数詞と「6」「7」「8」「9」「10」の数字が対応していることを知り、6～10個のものの数をかぞえることができるのが目標です。ここでは、1～5のときと同じように、ブロックを使い、同じ数の仲間を探していきます。

14, 15ページ <おなじかずのなかまをさがそう>

- ① 「いぬとおなじかずのなかまをさがしてみましよう。」
- ② 「ブロックをのせて、たしかめてみましよう。」
- ③ ねこ、ぶたなど、他のほかの動物や物についても、同じように質問し、答えさせます。
「いくつだった。」と聞き、答えさせます。わからないときは、「しち」だよ。など、正しい言い方を教えてください。

☆16～19ページは、6～10の数字を読んだり書き方を理解したり、物の数や数字を相互に関連付けることができるようにするのが目標です。数字を書くときは、数字の形が整うように、声をかけてあげてください。

16ページ



←に左の数字と同じ数だけ色をぬる。そのとき、視覚的に数の構成を理解できるようにするため、左上の〇から右へ順に色をぬるようにさせてください。2段目も左から順に色を塗らせてください。

17ページ

- ① 左上から右へ順に丁寧に数字を書いていく。正しく書けていないときは、直しをして、正しい形を覚えるようにさせてください。どうしてもうまく書けないときは、マスに薄く書いてあげたり、赤で書いてあげたりして、その上をなぞるようにさせてください。

18ページ

- ① 数を数えて数字をマスの中に書く。

19ページ

- ① 「6」とおうちの方がいたら、ブロックを6こ並べたり、数字を見せて読ませたりするなど、練習する。
- ② 「おなじかずをあらわしているものをせんでむすびましょう。」

☆20～31 ページは、6～10の構成を理解することが目標です。数の構成は、これから学習するたしざんやひきざんの基礎になりますので、何度も練習し、数の合成、分解を身につけさせましょう。

20,21 ページ

- ① 「てでかくれているぶろっくのかずをかきましょう。」
- ② 「6はいくつといくつできていますか。かきましょう。」
- ③ 「かずをかぞえてきましょう。」 一つずつ数えるのではなく、6の構成を意識させて「赤3と白3で6」、「上2、下4で6」など絵の配置や色を利用して数えさせましょう。

22～29ページ

「6」のときと同じように、7, 8, 9, 10も数の構成を意識させて、取り組ませてください。

30,31 ページ

☆10の構成の理解を確実にすることが目標です。

☆32,33 ページは、1～10の数について、大小を比較することができ、その系列を理解するのが目標です。

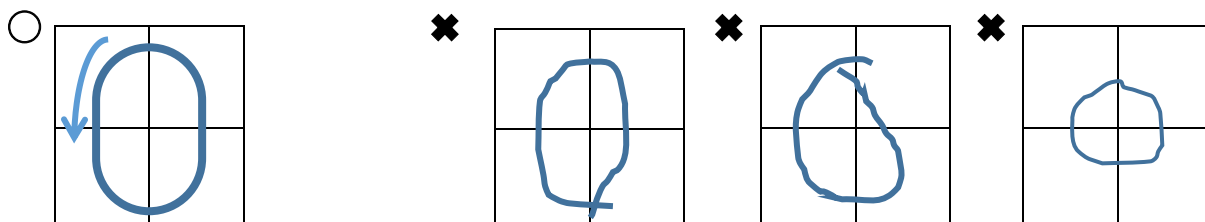
①「□にあうすうじをかきましょう。」

☆数図カード、数カードを切り取り、大きさ比べゲームをしたり、数カードを並べたりしながら、数の大小や並びについて練習しましょう。

☆34,35 ページは、1つもないことを「0」と表すこと、「0」も数の仲間であることを理解します。

34,35 ページ

- ① 1つもないことを「れい」といい、「0」と書くことを知らせます。
- ② 「0」を書く練習をします。
- ③ 10までの数を様々な方法で唱える活動を通して、10を多面的に見て表現することができるようにします。
- ④ 「0」の書き順は、上から左回りで、細長くなるように書き、書き始めと終わりをしっかり閉じることをご指導ください。



㊦ 教科書のもくじに書いてあるQRコード、または、アドレスにアクセスすると、10の構成の問題ができるので、練習にお使いください。